

お正月のたべものというとおもちもすぐに思いうかぶと思います。今日はおもちの話です。

おもちはおもち米をむして、ついてこしらえます。普通に食べるごはんはうるち米をたいて作るので、そもそも種類と作り方がちがうのです。手間がかかるけれど、おいしいし、うすく切つて天日干したものにおしよゆをつけて炭でやくとおいしいおかきができます。白くて丸いおもちのすがたは年神さまにお供えするのにふさわしいすがたです。

昔は、ハレ(特別なこと)とケ(ふつうのこと)がしっかり区別されていたのですが、お正月などはまさにハレの日、特別な日でした。そして特別なときにはふだん口にするのできないものを食べるというわけです。

おもちつきの日も決まっています。十二月二十九日をさけたのです。九というのは苦に通じるといっているので、もし二十九日につくと、苦がつくといってしまうんです。これも昔の人の洒落好きからきているのですが。

おかがみもちは一番大きなものを家の床の間や神棚にかざりました。小さいものは、家によってちがいますが、お店や台所、井戸、便所などにかざりました。

大きなおかがみもちは、三方に紙や昆布やウラジロをしてのせます。干し柿十個をのせるところもあります。こぶはよろこぶの洒落。ウラジロは白髪をイメージしています。長生きできるようにという意味があります。干し柿十個の意味は以前におせちのプリントにのせました。

橙だいだいは家は代々さかえるようにということでのせます。これは最近みかんで代用していますが本来はちがうので、そのへんは次号で。音読サイン↓

① 何の話でしょう？

() おかきの作り方 () おもち

() おもちの調理法 () おしよゆ

② おもちは何から作りますか？

③ おかきはどのようにして作りますか？

④ ハレとセットで使われる言葉は何ですか？

⑤ おもちつきの日はいつならいいのですか？

() 二十九日 () 十九日 () 三十日

⑥ おかがみもちをのせる台をなんといいいますか？

⑦ なぜかみもちにウラジロをしくのですか？

⑧ 橙はなぜのせるのですか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

() おもちからおかきが作れる。

() あられからおもちが作れる。

() みかんから橙が作れる。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

